

阿蘇市立内牧小学校の実践

地域の概要

本校区は、観光・温泉町として発展してきました。地域には、学校・保護者とともに積極的に協働しようとする風土があります。九州北部豪雨災害を体験し、地域を挙げて危機管理に対する意識が高まっています。

土曜授業実施の目的

学校週5日制の趣旨を踏まえつつ、保護者や地域住民に開かれた学校づくりを推進するため実施します。公開型、連携型、体験型の土曜授業を通して、人間づくり、学力づくり、社会性づくり、心と体づくり、地域づくりにつなげます。

特色ある取組 ～公開型、連携型、体験型プラスアルファの取組～

年間のカリキュラム

4月	授業参観・PTA総会【連携】
5月	道徳の公開授業【連携】
6月	童話発表会【公開】
9月	地域体験活動【体験】
11月	パワータイム（学力向上）
12月	性教育公開授業【公開】
1月	学校公開日【公開】
2月	学校公開日【公開】



【虎舞】



【彼岸花の球根植え】

【地域体験活動①】

体験学習のため、虎舞が十数年ぶりに復活しました。児童は、旧保存会の方の「球取りの舞」に見入り、「壁塗り」を一緒に踊ることができました。

【地域体験活動②】

地域の方と一緒に、河川敷に彼岸花の球根を植えました。10月末にはきれいな花が咲き、大きな達成感を感じました。



【パワータイム】

【地域貢献活動①】

(4区：お地蔵さん巡り) 地区のお地蔵さんのいわれを聞き取り発表し合った後、お地蔵さんの掃除と手作り前掛けをつけて回る活動を行いました。お地蔵さんを建てた人の思いを感じることができました。

【地域貢献活動②】

(2区：公民館掃除、ゴミ拾い) 地区のゴミ拾いと公民館掃除に分かれて活動しました。地域の方へ感謝の気持ちを持って取り組むことができました。



【お地蔵さん巡り】

1日のカリキュラム

1校時	教科等の授業
2校時	パワータイム
3校時	地域貢献活動

成果

- 地域での様々な体験を通して、児童は内牧の古き良き伝統を受け継ぎ、郷土への誇りや生きる力を身に付けることができました。
- カリキュラム等検討委員会を設置したことで、地域とともに土曜授業を創り上げていく土台ができました。
- 保護者・地域対象の避難訓練を実施したことで、学校と地域、双方の防災減災への意識を高めることができました。

産山村立産山小・中学校の実践

地域の概要

『「教育先進の村・産山」のブランド化』を施策の柱の一つとする村であり、子どもたちの夢の実現に向け、学校・家庭・地域が一体となった教育を進めています。

土曜授業実施の目的

土曜日に、学校・家庭・地域が連携して特色ある教育活動及び学力の充実等に向けた取組を実施することにより、児童生徒の「生きる力」を育みます。

特色ある取組 ～学校と地域が連携・協働した取組～

年間のカリキュラム

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
産山小学校	公開授業	小中・校区民合同体育祭	子どもヘルパー活動	体験活動	校内水泳記録会	
産山中学校				チャレンジ学習	村内ガードレール清掃	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
産山小学校	体験活動	小中・村学習発表会	村人権集会	体験活動	公開授業	小中卒業式
産山中学校	ヒップホップダンス			チャレンジ学習		



村のお年寄りの方のお宅を訪問しました。小学生と中学生と一緒に訪問し、家の中や庭の掃除をしています。小中学生で協力して地域に貢献することができました。

	産山小学校	産山中学校
1～3校時	子どもヘルパー活動	
4校時		教科等の授業



放課後子ども教室のスタッフに指導していただき、ピザづくりに挑戦しました。既存の組織の人材を活用して、豊かな体験活動を行うことができました。

	産山小学校	産山中学校
1～3校時	体験活動	数学検定
4校時		教科等の授業



数学検定に挑戦しました。産山中学校では、村から補助をいただき、全生徒が年間9回(漢検3回、数検3回、英検3回)検定に意欲的に挑戦しています。

	産山小学校	産山中学校
1～3校時	体験活動	数学検定
4校時		教科等の授業



村の人権集会で、保護者の方や地域の方と一緒に学習しました。作文を発表したり、お話を聞いたりして、人権に対する考えを深めることができました。

	産山小学校	産山中学校
1校時	教科等の授業	数学検定
2～3校時	村人権集会	
4校時		教科等の授業

成果

地域の教育力を活かした土曜授業は、児童生徒が様々な体験を通して学ぶ貴重な機会になるとともに、地域の課題解決等に向けて、学校と地域が協働して取り組む機会にもなっています。